

2024 年 明けましておめでとうございます。

1. 昇級挨拶
2. 全国大会審判報告
3. 審判交流プログラム報告
4. 審判実技講習会開催報告

== ハーフ タイム ==
東京 F A 審判委員会
第 6 1 号 (2024 年 1 月)

■昇級挨拶 《サッカー2級審判員》

2023 年度春の関東 2 級昇級審査が行われ、新たに 5 名のサッカー 2 級審判員が誕生しました。
昇級されました審判員の喜びの声をお届けします。



(今井 潤太氏)

2023 年度春に昇級いたしました今井潤太と申します。昇級にあたり、ご指導・アドバイス・叱咤激励をいただきました審判員の皆様、インストラクターの皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、私の審判活動に理解を示し、快く送り出してくれる家族にも感謝いたします。3 年前に選手としての限界を感じ、審判員としての道を歩み始め、一つの目標である 2 級昇級を達成でき、身の引き締まる思いです。現状に満足せず、自身とサッカーに謙虚に向き合い、選手が目の前のプレーに集中することができる試合環境を作れる審判員になれるよう日々努力して参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



(関根 翼氏)

この度、2023 春に昇級いたしました関根翼と申します。アカデミーや審判員の皆様、指導者の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。高校 3 年生の時に審判活動を本格的にスタートしました。初めてで右も左も分からない中、指導者の方々や他の審判員の方にたくさんサポートしていただき、ここまで続けることができました。2 級審判員という自覚と責任を持ち、初心を忘れずに活動していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



(鶴田 潤平氏)

この度、2023 年春に昇級いたしました、鶴田潤平と申します。
まず初めに、東京都サッカー協会の皆様を始め、ご指導をしてくださった皆様に感謝申し上げます。私自身、割当や大学等での試合を含め、さまざまな環境を用意していただいたからこそ、今の自分があると思っています。
今後、長期的な目標も大事ではありますが、まずは目の前の 1 試合 1 試合を大切にしていきたいと思ひます。
今後ともご指導よろしくお願いいたします。



(鳥居 尚登氏)

この度 2023 年度春にサッカー 2 級審判員に昇級致しました鳥居尚登（とりいなおと）と申します。東京都サッカー協会の皆様を始めとする関係各所、インストラクター、東京アカデミー、江戸川区サッカー連盟、そして全てのサッカーファミリーの皆様に感謝申し上げます。
審判を始めて 6 年目に差し掛かかりますが 2 級審判員になりシルバーワッペンを胸につけてみると身が引き締まる思いです。まだまだ 20 歳の若輩者ではありますが今後も微力ながら日本サッカー界発展のために力を尽くしていく所存です。今後変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



(西田 洸樹氏)

この度 2 級審判員に昇級いたしました、西田洸樹です。
審判活動を始めてからの約 2 年間、サッカーを通して多くの人と関わりながら充実した時間を送ることができました。住んでいる江戸川区や東京都のサッカー協会の方はもちろん、通っている大学のサッカー部の選手やスタッフ、また同年代の切磋琢磨できる仲間達など、挙げればきりがありませんが本当に多くの人にお世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。
今後もサッカーを通して出会う人達との出会いを大切にしながら、サッカーがより魅力的になるように活動していきます。引き続きよろしくお願いいたします。

■昇級挨拶

《フットサル2級審判員》

2023年度関東2級昇級審査が行われ、新たに1名のフットサル2級審判員が誕生しました。



(中村 秀人氏)

この度、フットサル2級審判員に昇級させていただきました中村秀人と申します。まずは、昇級にあたり、協会、部会の皆様には、昇級時の多大なサポートをいただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

私の審判人生は、2011年の全日本少年サッカー大会の審判派遣から始まりました。当時高校3年生で、高校サッカーで骨折した左手のリハビリがてら行ってこいと言われたのがきっかけで、向かった静岡県でした。当時の少年からナイス審判と声をかけてもらい、嬉しかった事を鮮明に覚えています。あれから12年、そこで出会った少年は、日の丸を背負っています。しかも審判トレセン同期や試験同期、アカデミー同期は、JリーグやFリーグで笛を吹いています。そんな仲間たちにはやく合流できるよう、当時の初心を忘れず、邁進してまいります。引き続き皆さまご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

■全国大会審判報告

～第38回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 審判員として参加して～

2023年8月13日(土)～19日(金)@北海道帯広市 (サッカー2級審判員)

以下は大会のテーマです。

「Players' managementのための表現力を高める」

<期待したい効果・結果>

○必要とされるときに、スピード、加速を伴った動き出しと、

全体的な運動量

○効果的な表現力

○納得ある判定ができるようになる

○ベンチ(監督・役員等)への対応

大会前の事前ミーティングでは、テーマであるマネジメントについて、仲間の審判員やアセッサーとのディスカッションなど現地での研修の中で引き出しの数を増やしていこう、という話がありました。日本列島を直撃した台風の影響をかりうじて受けず、大会は無事予定通り実施され、私は4日間で、主審2試合、副審3試合を担当しました。大会を通じて試合が白熱し、ベンチから声があがる場面が多く、第4審判の任務や、ベンチコントロールについて毎日話題になりました。

試合を難しくさせる可能性のある事象に対して、主審が早めに気づき、選手やスタッフが試合に集中できる環境をレフリーが作ることがいかに大切かをあらためて考えさせられました。



(写真右から2番目、主審を担当された福島氏)



(大会派遣された東京都所属の審判員
左から、蒲澤淳一氏(インストラクター)
吉田瑞希氏、山本真理氏、福島崇氏)

夜のミーティングや、様々な場面で、レフリーがどう関わることがより効果的かを仲間の審判員と意見交換できたことは、非常に有意義な時間でした。特に私がこの研修で感じたことは、①マネジメントの前に、まずは正しい判定があること、②審判員として、1つ1つの所作に意図を持ち、笛の吹き方や、注意の仕方等、試合の流れや、その後の影響を想定した効果的な対応をすること、③選手だけでなく、ベンチや観客に対してより納得感ある見せ方をする、ことです。

大会に参加した全国各地からの審判仲間との出会いは私の財産になりました。そして各地で奮闘されている方々から熱いエネルギーをもらいました。

この研修に参加させていただき感謝申し上げます。この経験を今後の東京での活動に繋げたいと思います。

■審判交流プログラム報告

～第 28 回フラタニティカップ 2023 in 香港 参加して～

2023 年 11 月 23 日(木)～26 日(日) (総務部会 青木 亮)

毎年、東京都サッカー協会 審判委員会、山形県サッカー協会、香港サッカー協会 審判委員会 3 団体による、審判交流プログラムを開催していましたが、2018 年の第 27 回山形大会後、2019 年は香港開催予定でしたが、政情不安によって開催が延期され、2020～22 年の 3 年間はコロナパンデミックにより引続き開催が叶いませんでした。4 年も空いてしまったことで、フラタニティカップの開催そのものが無くなってしまおうということも考えられましたが、3 団体による協力の元、2017 年以來の 5 年振りに香港にて開催されました。

この交流プログラムは、参加した人でないとその良さが認識できないところが辛いところですが、この報告から（過去報告含め）サッカーの審判に特化した交流プログラムの良さ、楽しさが伝わればと思っております。



(試合開始前の両チームの集合写真)



(主審を担当する青木氏)

今回は、快晴の人工芝ピッチの元、35 分ハーフにて交流戦が行われました。審判団はインカムを用いて、英語でコミュニケーションを図りながら試合は円滑に進められました。結果の方は、前半に先制した香港チームが勝利しました。

2024 年は山形県にて 5 月に開催予定となっています。この交流から 1 級審判員、また国際審判員へとステップアップされた審判員もあり、国際交流プログラムが継続して取り組まれることで、東京都所属の若い審判員の皆様の審判活動の一つの成長の助けになればと願っております。

■審判実技講習会開催報告

～港区小・中学生サッカークラブ連合会～

2023 年 11 月 3 日(金) (審判統括部会 グラスルーツ Part 芦埜 茂)

港区小・中学生サッカークラブ連合会さんからご依頼をいただき、審判実技講習会を 11 月 3 日に開催いたしました。対象は連合会所属小中学生チームに携わっている審判員、これから審判員になろうとされている方で 2 部構成（第 1 部は初心者向け副審編、第 2 部は経験者向け主審編）で、第 1 部はアップのあと基本的なフラッグテクニック、オフサイドの見極め、最後にゲーム形式での実践という流れで行い、第 2 部は主審の走り方、笛の吹き方・ジェスチャー、主審の位置取りなど



(フラッグを手に持つ受講者の皆さん)



(受講の様子)

基本的なプラクティカルを行いゲーム形式で確認をするという内容で行いました

会場は港区内の人工芝フィールドで、小学生チームのゲームを題材に 1 部、2 部延べ 60 名の受講生の皆さんが秋空の中、気持ち良い汗を流し熱心に受講されました。

コロナ禍で中々区市協会・連盟等の団体から依頼が難しい状況でしたが、これからは依頼も増えていくと思いますので積極的に実施していきたいと思います。